

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01363厚沢部町
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状 値 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
01363厚沢部町	②学校と地域の課題	02 青少年の健全育成	町内では都市部に比べて体験教室等のイベント開催が少なく、都市部の子どもとの間に学習機会の格差が生じている。教育委員会では地元住民を講師とした体験型のイベント(陶芸教室・親子釣り体験)を継続的に開催し、学習機会の創出に努めている。	学習機会の格差を解消するために地元住民と委託契約を締結し陶芸教室(通年5回)、親子釣り体験イベント(年1回)の開催を行う。	陶芸教室、親子釣り体験は例年一定の参加者を確保できており、地域のニーズに沿った事業内容であると評価している。令和6年度は陶芸教室が15名定員のところ10名の申込があり、親子釣り体験は10組募集のところ12組の申込があった。令和7年度は新規参加者の確保を目的に、参加のハードルをさげるため前年度の事業内容の紹介を周知文に取り入れる等の工夫を行った。また、親子釣り体験は地元住民と協議した結果、令和6年度の契約金額では物価上昇に対応できないと評価したため、令和7年度は契約金額を増額して実施した。	地元住民を講師とした体験型イベントを継続し、町内の子どもに学習機会を提供することで参加者は地域の人々と交流しながら、厚沢部町の自然や文化を学習し、自分の暮らす地域への理解を深める。また、地元住民に講師を委託することで活動の継続を促し、地域住民による教育体制の継続を図る。	申込人数	20	人	22	18	令和7年度は陶芸教室、親子釣り体験共に定員数を下回った。陶芸教室は15名程度募集に対して9名、親子釣り体験は10組募集のところ5組9名の参加者となった。 目標値を下回った要因として、陶芸教室については募集対象が小学校4年生から6年生と狭いことから該当年度の対象者の人数に影響を受けやすいことやリピーターとなっていた参加者が中学生となり参加できなくなったことが考えられる。 親子釣り体験は実施日に地域スポーツクラブの練習日が重なり、参加のキャンセルが発生した。また、陶芸教室の委託先団体から物価上昇により運営が困難になっているとの相談があった。 アウトカムの達成に向けた課題として参加者数の確保と地元団体の活動継続に向けた取り組みが必要である。 改善方法として、募集対象の拡大や地元団体に対する委託料の増額を検討する。	厚沢部町公式ホームページ